

■ 平成28年度の現状と主な取組について

1 平成28年度の現状

① 平成28年度 月別患者数 目標達成状況

1月当たりの目標数（平均）は、入院患者を6,037人（1日当たり198.5人）、外来患者を7,218人としています。

入院患者			入院患者（1日当たり）			外来患者		
年目標数	72,445人		目標数	198.5人		年目標数	86,620人	
月別患者数		達成率	月別1日当たり患者数		達成率	月別患者数		達成率
4月	5,009	84.3%	4月	167.0	84.1%	4月	6,278	85.5%
5月	5,182	84.5%	5月	167.2	84.2%	5月	6,093	87.4%
6月	5,335	89.8%	6月	177.8	89.6%	6月	6,638	82.2%
7月	5,884	95.9%	7月	189.8	95.6%	7月	6,194	84.4%
8月	5,125	83.5%	8月	165.3	83.3%	8月	6,803	84.3%
9月	5,684	95.7%	9月	189.5	95.5%	9月	6,616	90.1%
月累計目標数	36,321人		月累計目標数	198.5人		月累計目標数	45,156人	
月累計実績	32,219	88.7%	月累計実績	176.1	88.7%	月累計実績	38,622	85.5%

前年比

前年比

前年比

前年同期実績	32,889	98.0%	前年同期実績	179.7	98.0%	前年同期実績	42,431	91.0%
--------	--------	-------	--------	-------	-------	--------	--------	-------

② 平成28年度 月別医業収益（税抜） 目標達成状況

1月当たりの目標額（平均）は、入院収益を205,983千円、外来収益を65,859千円、入院・外来の合計を271,842千円としています。

入院収益			外来収益			入院・外来収益計		
年目標額	2,471,795千円		年目標額	790,309千円		年目標額	3,262,104千円	
月別医業収益		達成率	月別医業収益		達成率	月別医業収益		達成率
4月	184,165	92.3%	4月	56,269	89.7%	4月	240,434	91.7%
5月	175,980	85.4%	5月	55,121	92.5%	5月	231,101	87.0%
6月	194,102	97.3%	6月	63,198	91.5%	6月	257,300	95.8%
7月	215,075	104.4%	7月	59,601	95.0%	7月	274,676	102.2%
8月	174,384	84.6%	8月	63,475	91.9%	8月	237,859	86.5%
9月	181,112	90.8%	9月	61,734	98.4%	9月	242,846	92.6%
月累計目標額	1,239,285千円		月累計目標額	400,032千円		月累計目標額	1,639,318千円	
月累計実績	1,124,818	90.8%	月累計実績	359,398	89.8%	月累計実績	1,484,216	90.5%

前年比

前年比

前年比

前年同期実績	1,169,224	96.2%	前年同期実績	359,079	100.1%	前年同期実績	1,528,303	97.1%
--------	-----------	-------	--------	---------	--------	--------	-----------	-------

平成28年度上半期の患者数、収益の状況については次のとおりです。

患者数は、目標と比較すると、入院患者数は4,102人少なく（1日当たり22.4人）、達成率は88.7%、外来患者数は6,534人少なく、達成率は85.5%となっています。前年同期と比較すると、入院患者数は670人（2.0%）の減少、外来患者数は3,809人（9.0%）の減少となっています。

次に、収益については、目標と比較すると、入院収益は114,467千円少なく、達成率は90.8%、外来収益は40,634千円少なく、達成率は89.8%となっています。この結果、入院・外来収益の合計では155,102千円少なく、達成率は90.5%となっています。前年同期と比較すると、入院収益は44,406千円（3.8%）減少し、外来収益は319千円（0.1%）の増加となり、入院・外来収益の合計では、2.9%の減少となっています。

③ 一般会計からの繰入金の状況

一般会計からの繰入金については、前年度の決算額等を基礎に算定されています。前年度は入院収益の増加及び減価償却費等の費用の大幅な減少があったため、繰入金の対象となる精神科及びリハビリテーション医療の運営に係る費用と収益の差も縮小したことから、平成28年度決算見込額は、計画値より100,931千円少ない613,086千円となっています。これは、前年度の決算額と比較すると、144,731千円（19.1%）の減少となっており、平成28年度決算における収支均衡達成に対して与える影響が大きくなっています。

(千円)

区 分	H28計画額	H28決算見込額	H27決算額
収益的収支	398,915	301,132	458,606
資本的収支	315,102	311,954	299,211
合 計	714,017	613,086	757,817

2 平成28年度の主な取組

第3次経営改善計画の3つの基本方針ごとの重点的取組事項等は次のとおりです。

(1) 患者中心の医療の推進

- ① 地域包括ケア病棟の運用、NSTやがん患者・家族支援チーム等によるチーム医療を推進し、当院に求められる医療ニーズに対応した取組を継続しています。
- ② 保健衛生行政に対して医療面から支援する各種健診事業を実施しています。また、胃がん検診をX線検査と内視鏡検査から選択できるようにしたり、乳がん健診を女性スタッフが行うようにするなど、より受診しやすい環境づくりに努めています。
- ③ 電子カルテ、クリニカルパスを活用し、インフォームド・コンセントの充実を図っています。

- ④ VOIS報告（自発的情報提供システム）の徹底，医療事故防止マニュアルの励行により安全な医療の確保に努めています。
- ⑤ ホームページの充実，広報もりおかの活用など市民への情報提供の推進を図り，当院の医師のプロフィールや診療内容等が分かる「診療案内」や当院の最新の情報をお知らせする「地域医療連携だより」を地域の医療機関等に提供しています。
- ⑥ ご意見箱を設置し患者からの意見等を積極的に病院運営に取り入れています。
- ⑦ 派遣研修，院内研修を行い職員の資質向上に努めるとともに，外部講師による接遇研修等により職員全体の接遇力の向上を図っています。

(2) 地域医療連携の推進

- ① 地域包括ケアシステム構築へ貢献する地域包括ケア病棟を60床で運営し，患者の在宅復帰支援，地域医療機関への支援の充実を図っています。
- ② 逆紹介率の向上を通じて地域のかかりつけ医との連携を強化しています。
- ③ 院長，診療科医師による開業医等への訪問を実施し，必要があれば入院等の支援を行うことをPRしています。また，移動が困難な施設利用者のために当院の患者輸送車による無料の移送サービスを行っています。
- ④ 地域への啓発活動の一環として，「市立病院デー」を開催したほか，出前講座に職員を講師として派遣しています。
- ⑤ 地域の在宅医療を提供している医療機関を支援するため，在宅療養後方支援病院の拡大を図るとともに，土曜日の開業医等からの紹介入院患者の受け入れを行っています。
- ⑥ 病院敷地内の未利用地を借受してサービス付高齢者向け住宅を建築・運営する借地予定事業者と，契約に向けた協議を継続しています。

(3) 経営改善の推進

- ① 各診療科やコメディカル単位などで部門を設定し，それぞれがアクションプランを作成し，部門相互に取組への協力や進捗管理を行っています。進捗状況については，毎月の院内連絡会議で院内に周知するほか，年2回報告会を開催し部門ごとに取組を発表しています。
- ② 関係機関との情報交換や連携，医師の紹介業者の活用等により医師の確保に努めています。今年度においては，循環器内科及び神経精神科の常勤医師を1名ずつ増員し，循環器内科については入院にも対応できるようになりました。
- ③ 医療・介護の同時の報酬改定となる平成30年度を念頭に置きつつ，地域医療構想への対応も考慮しながら，地域で必要とされる医療の確保に向けた取組を進めていきます。
- ④ 職員全員が効率的な業務をするよう工夫し，看護助手等の採用も含めて時間外勤務の削減に努めています。

- ⑤ 施設の老朽化に対応するため、長寿命化の計画の作成作業を行っていきます。
- ⑥ 医療機能の維持や精度の向上のため、医療機器の計画的な購入に努めています。昨年度に人工透析関係の設備投資を行い、平成28年7月から透析患者の受入を開始しています。
- ⑦ 外部経営コンサルタントを採用し、具体的な提言を受けながら経営改善の推進に活用しています。
- ⑧ 市立病院経営評価委員会による経営改善計画の点検・評価のもと、着実な計画推進に努めています。